



2020年8月6日

各 位

会 社 名 セーレン株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼
 最高経営責任者 川田 達男
 (コード番号 3569 東証第1部)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 経営企画本部長 川田 浩司
 (TEL. 0776-35-2111)

業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年5月21日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想および配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2020年4月1日~2020年9月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	42,000	1,900	1,900	800	14.41
増 減 額(B-A)	—	—	—	—	
増 減 率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	60,817	5,078	5,371	3,772	67.56

(2) 公表の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、その後の緊急事態宣言解除を受け、限定的ではあるものの、一部に経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定しました2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想を公表いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、全世界で自動車メーカーの工場稼働停止や販売店休業が広がり、自動車の生産面および販売面に多大な影響が及んでいます。この影響を受け、当社グループ主力事業の車輛資材事業では、全世界で生産および販売数量の減少に伴う生産調整を余儀なくされました。最初に感染拡大が広がった中国においては、2月、3月の生産減少後、4月以降順調な回復を見せておりますが、それ以外の地域における生産水準の回復には、いまだ時間を要する見通しです。

また、国内外における外出自粛や店舗の営業停止による消費低迷の影響は、車輛資材事業以外のハイファッション事業、エレクトロニクス事業、環境・生活資材事業、メディカル事業にも大きな影響を及ぼしておりますが、一部でさらなる悪化懸念もあり、事業環境回復の目途については、現在もなお不透明

明な状況です。特に、ハイファッション事業においては、小売店舗数の削減等の構造改革が進む中、外出自粛や店舗の営業停止により積み増された売れ残り商品在庫など、アパレル業界の事業環境は、今後さらに厳しさを増し、その回復には、かなりの時間を要すると想定しております。

このような現状のもと、2021年3月期通期連結業績予想につきましては、その算定が可能になった段階で速やかに開示いたします。

2. 配当予想

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	18円00銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	18円00銭	18円00銭	36円00銭

(2) 公表の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題として捉え、安定的な配当を継続することを基本に、企業の安定成長、業績、財務状況、配当性向等を総合的に勘案して、株主の皆様への配当を決定することを基本方針としております。

2021年3月期の配当予想につきましては、業績予想と同様に未定としておりましたが、上記方針に基づき、中間配当を1株につき18円とする予想を公表するものです。

なお、当期の期末配当金については未定です。

(注) 上記予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上